

## 議事要旨(2) ASAF対応専門委員会における検討状況

冒頭、小賀坂副委員長より、2014年9月ASAF会議で予定されている議題について、説明資料[審議事項(2)-1]に基づき説明がなされた。続いて、紙谷ディレクター及び関口常勤委員より、説明資料[審議事項(2)-2]から[審議事項(2)-5]に基づき、詳細な説明がなされた。

説明に対する委員からの主な意見と、それらに対する事務局からの回答は次のとおりである。

### 概念フレームワーク（純損益及びOCI）

- ある委員より、IASB のボード会議において、純損益は包括的な指標であるという発言やより長い期間で純損益に認識することが目的適合的な項目もあるという発言が聞かれたことに関して、ASBJ が主張する方向に議論が進んでいるという理解でよいかという質問がなされた。
  - これに対して事務局より、不可逆な成果に関してはまだ十分な理解は得られていない状況であるが、純損益が包括的な測定値であることや財政状態の報告の観点と財務業績の報告の観点から2つの測定基礎を使用することに関しては理解が浸透してきているのではないかと、という回答がなされた。
- ある委員より、次のような質問がなされた。
  - IASB のボード会議において、より長い期間で純損益に認識することが目的適合的な項目もあるという発言が聞かれたことに関して、ボード会議において賛同者が多いのか。
  - IASB のボード会議において、業績指標として収益及び費用よりキャッシュ・フローが重要な企業も存在するという意見が聞かれたことに関して、具体的な事例を明示して主張されたのか、またこのような企業は例外的であるという理解がボード会議でもなされているか。
- これに対して事務局より、次のような回答がなされた。
  - より長い期間で純損益に認識することが目的適合的な項目に関する意見は、1名の理事による発言であり、必ずしも多くのボードメンバーが賛同している状況ではないと思われる。
  - 業績指標としてキャッシュ・フローが重要な企業が存在することに関しては、1名の理事による発言であり、特に具体的な事例により主張されたものではなかった。

### 開示に関する取組み（調査研究プログラム「財務諸表の表示-FSP プロジェクト」）

- ある委員より、FSP プロジェクトの再開に関して、財務諸表についての具体的な課題や問題を提示して提案されているのか、という質問がなされた。
  - これに対して事務局より、アジェンダ・ペーパーでは、アジェンダ・コンサルテーション、概念フレームワークプロジェクト及び開示に関する取組みにおいて聞かれた意見を紹介しているが、財務諸表利用者の具体的な要求事項までは明示されていない状況であった、という回答がなされた。
- ある委員より、次のような発言がなされた。
  - FSP プロジェクトの再開に関して、概念フレームワークや保険契約・リースのような

重要な基準開発を行っている過程において、具体的な要求事項の説明もなくプロジェクトを再開することに違和感がある。

- 一体性の原則及び分解の原則に懸念を表明しているのは、一部の作成者ではなく多くの作成者ではないか、また前回のプロジェクトの問題点を十分に踏まえて再開すべきではないか。
- これに対して事務局より、次のような回答がなされた。
  - リソースの適切な配分の観点からプロジェクトの優先順位については意見が分かれており、詳細な計画は今後策定される予定である。
  - ASBJ スタッフとしては、懸念を表明しているのは一部作成者ではなく、多くの作成者であったと認識しており、前回のプロジェクトの問題点を十分に踏まえて再開すべきである意見に関しては賛同する。

#### 開示に関する取組み（相互参照）

- ある委員より、次のような質問がなされた。
  - IASB スタッフから提案された相互参照に関する追加的なガイダンス案の中に、財務諸表の外の相互参照された情報に関するリストを開示するという記述があるが、これは、相互参照し得る情報すべてに関するリストを開示すべきという提案か。
  - IASB スタッフから提案された相互参照に関する追加的なガイダンス案の中に、相互参照された情報が描写・視覚化されるべきという記述があるが、これは、どのような状況を想定するものか。
- これに対して事務局より、次のような回答がなされた。
  - IASB スタッフによる提案は、相互参照し得る情報すべてに関するリストを開示すべきというものでなく、企業が相互参照先として利用した情報を対象とすると理解している。
  - IASB スタッフによる提案において、相互参照された情報の描写や視覚化の方法について具体的に示されていないが、例えば、相互参照先の情報が、具体的な頁番号や行数の特定等を通じて明示され、識別可能とされている状態が想定される。

以 上